

定期テストの思い出

学年に360人ほどいた母校では、定期テストの結果（1～100番まで）が学年の廊下に張り出されました。生徒の競争心をあおることで学習意欲を高める意図があったと思いますが、今のようなパソコンや拡大印刷機などない時代、担当の先生は巻紙に墨で順位と名前、総合得点を書いていたようです。当時は当たり前ですが、毎回手書きしていた先生には頭が下がります。

テスト一週間前から部活動を含む放課後の活動がなくなり、勉強に専念する事になります。テスト勉強の方法や計画は自由で、自分なりの勉強方法を考え出し、大きく書いた計画表を部屋に貼って取り組んでいました。

普段からコツコツ勉強していれば良いものの、一週間で無理やり詰め込む勉強方法にはやはり無理があり、テストの前日などはほぼ徹夜で当日を迎え、テスト中に爆睡してしまい、よだれで解答用紙がベトベトになり答えが読めなくなったこともありました。（そうなるまえに起こしてよね！テスト監督の先生！）

0時を過ぎると小腹が減り、一つ上の兄と夜食を食べようという事になります。当時旅館業を営む我が家には、冷蔵庫にたくさんの食材があり、深夜の調理実習が始まります。最初は肉を焼いてご飯と食べるくらいだったのですが、兄においしいと褒められると調子に乗って、だんだん手の込んだ料理をつくるようになり、味噌ラーメンやハンバーグを手作りしたことも。お陰様でテスト期間中に料理の腕は格段に向上しました。試食後のデザートを食べ、ベッドに横たわり、ちょっとだけ食後の休憩……。気が付けば朝になっています。そして、お客さんの食材を使ったことに対する母の詰問が……。

その時何を勉強したのかは今では思い出せませんが、テスト期間も含め必死に頑張った記憶や自分で作った夜食の味は今でも鮮明に覚えています。勉強に限らず、自分が一生懸命取り組んだ事は一生忘れないものだと思います。

10月1日（金）に中間テストがあります。40年後に「あの時、テスト勉強頑張ったよな！」と言える、思い出に残るような勉強をしてみませんか？

藤川俊彦（9月21日更新）